

## 副専攻名 考古学

## 副専攻のCP(カリキュラム編成方針)

考古学の概念、考え方などの基礎的な事柄を知り、日本を含む世界の考古学の基礎知識を学ぶ。

## 副専攻の学習成果

歴史、社会、文化を考えるために、一つ一つの資料の積み重ねから過去を復元する考古学の考え方を身に着ける。

## 副専攻を構成する科目

科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	Q1	Q2	Q3	Q4
41476	地域考古学A1	考古学的な分析法を学ぶ。それにより地域社会を復元する方法を学ぶ。	2～4				
41478	地域考古学A2	考古学的な分析法を学ぶ。それにより地域社会を復元する方法を学ぶ。	2～4				
41477	地域考古学B1	考古学的な分析法を学ぶ。それにより地域社会を復元する方法を学ぶ。	2～4				
41479	地域考古学B2	考古学的な分析法を学ぶ。それにより地域社会を復元する方法を学ぶ。	2～4				
41480	比較考古学A1	考古学の方法により、文化を比較する方法を学ぶ。	2～4				
41482	比較考古学A2	考古学の方法により、文化を比較する方法を学ぶ。	2～4				
41481	比較考古学B1	考古学の方法により、文化を比較する方法を学ぶ。	2～4				
41483	比較考古学B2	考古学の方法により、文化を比較する方法を学ぶ。	2～4				
21209	考古学概説A	様々な考古学的な分析法を学ぶ。それにより地域の歴史を復元する能力を習得する。	2～4				
21210	考古学概説B	様々な考古学的な分析法を学ぶ。それにより地域の歴史を復元する能力を習得する。	2～4				
41496	地域考古学演習A1	考古学的分析法を通して、地域社会を復元する方法を学び、それを実地に応用できるようになる。	2～4				
41498	地域考古学演習A2	考古学的分析法を通して、地域社会を復元する方法を学び、それを実地に応用できるようになる。	2～4				
41497	地域考古学演習B1	考古学的分析法を通して、地域社会を復元する方法を学び、それを実地に応用できるようになる。	2～4				
41499	地域考古学演習B2	考古学的分析法を通して、地域社会を復元する方法を学び、それを実地に応用できるようになる。	2～4				
41841	比較考古学演習A1	考古学的分析法を通して、東アジア地域の歴史を考察できるようになる。	2～4				
41843	比較考古学演習A2	考古学的分析法を通して、東アジア地域の歴史を考察できるようになる。	2～4				
41842	比較考古学演習B1	考古学的分析法を通して、アジア地域の歴史を考察できるようになる。	2～4				

**副専攻名 考古学****副専攻のCP(カリキュラム編成方針)**

考古学の概念、考え方などの基礎的な事柄を知り、日本を含む世界の考古学の基礎知識を学ぶ。

**副専攻の学習成果**

歴史、社会、文化を考えるために、一つ一つの資料の積み重ねから過去を復元する考古学の考え方を身に着ける。

**副専攻を構成する科目**

科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	Q1	Q2	Q3	Q4
41844	比較考古学演習B2	考古学的分析法を通して、アジア地域の歴史を考察できるようになる。	2～4				
41857	考古学実習ⅠA	考古学にとって最も基本的な作業であるモノの資料化に係わる基礎的技術を修得する。	2～4				
41858	考古学実習ⅠB	考古学にとって最も基本的な作業であるモノの資料化に係わる基礎的技術を修得する。	2～4				
41859	考古学実習ⅡA	モノの資料化に係わる技術を修得し、発掘から報告書作成に至る作業の流れを理解する。	2～4				
41860	考古学実習ⅡB	モノの資料化に係わる技術を修得し、発掘から報告書作成に至る作業の流れを理解する。	2～4				